

## 夢の平成号「イルカウォッチング」実施状況まとめ



平成29年7月3日  
むつ市経済部観光戦略課

### 1. イルカウォッチング遭遇状況

1

運航回数：48回中34回運航 運航率：70.8%

遭遇回数：34回中27回遭遇 遭遇率：79.4%

運航期間：5月3日（水）～6月18日（日）の47日間

5月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
			×	40	30	×
7	8	9	10	11	12	13
欠航	欠航	欠航	欠航	40	×	欠航
14	15	16	17	18	19	20
欠航	欠航	欠航	40	欠航	40	40
21	22	23	24	25	26	27
×	×	50	60	60	×	欠/10
28	29	30	31			
×	欠航	100	150			

6月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
				欠航	欠航	50
4	5	6	7	8	9	10
100	200	70	50	100	欠航	100
11	12	13	14	15	16	17
60	50	100	50	30	50	40
18	19	20	21	22	23	24
100						
25	26	27	28	29	30	

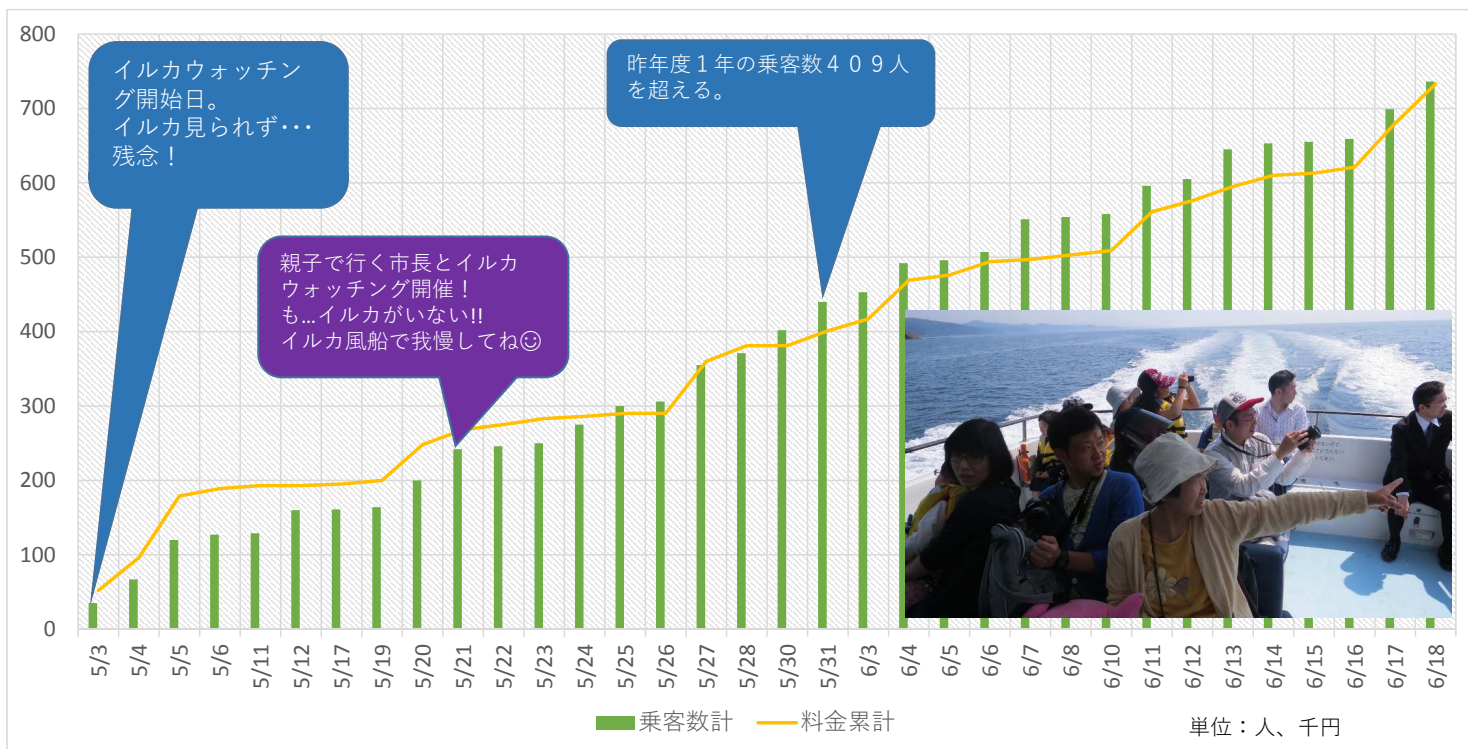
※ 数字は遭遇したイルカの頭数、×はイルカ見られず、欠航は悪天候による欠航。

※ 5月27日は定期便は欠航、午後に臨時便が出航しイルカと遭遇。

## 2. 乗客数及び料金収入

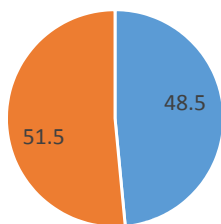
乗客総数 736名（昨年度1年の乗客数409名を大きく上回る）

料金収入 733,140円、仏ヶ浦遊覧コースを加えると、6月18日終了時点で1,574,960円（昨年度1年の収入1,545,880円を上回る）



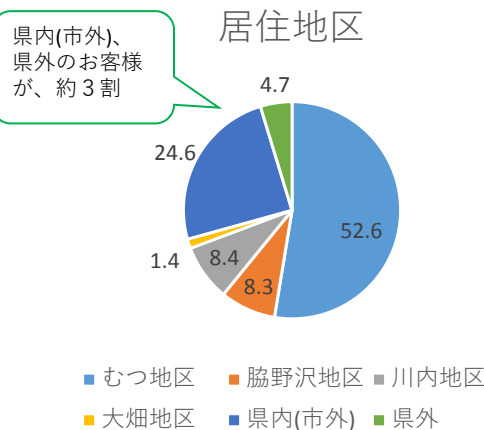
## 3. 客層の分析、お客様の声

男女比率



■男 ■女

居住地区



年齢層



### お客様の声

- ・初めて近くで見たので興奮しました。
- ・沢山のカマイルカが間近で見られて感動しています。全国の方へ知らせ、下北の自然、おいしい空気、おいしい水、おいしい食べ物と共に伝えていけたら良い。
- ・見られた時は料金なりに良かったと思えるが、見られなかったときは高く感じるのではないかな。
- ・お土産があればもっと良いと思います。
- ・かわかったし、近くで見られたので良かったです。
- ・思ったよりイルカが多かった。
- ・野生のイルカは素晴らしい。 など

## 今後要検討事項

- ・お土産品の充実  
イルカぬいぐるみ、ポストカード等イルカ関連グッズの開発、販売体制の構築。
- ・見られなかったときの対応  
地場産品の割引券等、脇野沢からの帰路で使えるものを検討。
- ・お客様を楽しませる工夫  
ジャングルクルーズのようなお客様を満足させるようなガイド演出を検討。  
イルカを最初に発見したお客様へ何か特典を検討。
- ・他事業とのタイアップ  
旅行商品、学習活動等、他の事業との連携により注目度を上げる。



## 参考1. 報道の状況

### 新聞報道

東奥日報	3回
デイリー東北	3回
朝日新聞	3回
読売新聞	2回
毎日新聞	2回
河北新報	1回
日経新聞	1回
産経新聞	1回
合計	8紙16回

### テレビ

青森放送 (RAB)  
青森テレビ (ATV)  
青森朝日放送 (ABA)  
日本放送協会 (NHK)  
で随時放送

### ラジオ

市長がコメンテーターを務め、「つながる」をテーマに毎回多彩なゲストお招きして、楽しいトークを繰り広げる番組、エフエム青森「宮下宗一郎のつながるラジオ」でイルカウォッチングをPR。  
・2回目放送時 (5/14)  
・3回目放送時 (6/11)

中京広域圏を放送対象地域とする、CBCラジオに出演し、イルカウォッチングをPR



## 投入状況

- ・ 1日2人程度、運航回数34回中33回で延べ70人派遣。

総務部	13人
企画部	10人（ジオガイドとして乗船）
経済部	25人
川内庁舎	10人
脇野沢庁舎	6人
教育委員会	6人（公民館行事時に乗船）

## 役割

- ・ 乗船時に乗船に当たっての注意事項アナウンス。
- ・ 下船時に下船に当たっての注意事項アナウンス。
- ・ 乗下船時の乗客の安全確保。
- ・ イルカウォッチング中の乗客の安全確保。
- ・ イルカの生態、ジオサイトのガイド。

### 夢の平成号乗船における注意事項

- 歩きやすい靴でご乗船ください。
- 停泊中及び運航中は係員の指示に従い、船内で走ったり、跳んだりしないでください。
- 波の状態によっては船体が激しく揺れることが予想されます。
- 危険ですので、イルカが見えた時にも、慌てて立ち上がったり、急いで席の移動をしたりしないでください。
- 室外へ出る際は、救命胴衣をご着用ください。
- デッキの手すりに腰掛けしないでください。手すりから海側には身を乗り出さないでください。
- お子様からは絶対に目を離さないでください。
- 船内から海へ物・エサを投げ捨てたりしないでください。
- エチケット袋を準備しております。気分が悪くなった方はスタッフに申し付けください。